
優恋

きうい餅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

優恋

【Nコード】

N6682A

【作者名】

きつい餅

【あらすじ】

優しい恋は、心の雨をも晴らしてくれる。

言葉って、なんてせつないんだろう

私の心を揺るがし、縛る

まるで鎖のように――

雨が勢いを増してきた。

まるで、私の心の内を表しているかのような、この大粒。平気だ。

雨の音が、私の泣き声をかき消してくれる。

制服はさぶ濡れになってしまっても、かまわない。

泣き顔だって、縛りもしない長い黒髪のおかげで、

顔にわかめが張り付いたようになっていて、見えないから。

私は良いんだ。

いや…

「フラれた」という点では良くないんだけど。

彼の方が心配だ。

何しろゆうに20分間は、二人とも無言でただ立ち尽くしているだけなんだから。

雨に打たれ、体も心も冷えた状態になりながら。

「本当に、ゴメン――」

二度目の言葉。

まるで突き放されたような、

さようなら、と言われているようで、心が重くなった。

彼は、もうそれ以上何も言えないだろう。

私も辛い、けど、彼もきつと――

知っていたはずじゃないか、私。

どんなに強く想っても、惹かれても、

叶わない恋も、あるんだってこと――

私も言わなくては。

好きになつてごめんなさい。

想いを、止めることができなくて、ごめんなさい――

「…ありがとう」

ごめんなさい、より、まだ優しくなれるような言葉をみつけた。
こっちのほうが良い。

それは、私の想いを受け止めてくれたことに、じゃなくて、
私の想いを、知ってくれてありがとう、だから。

そして、あなたの想いを聞かせてくれたことにも。

「君は、優しいね」

何故だ？

一方的に言葉をぶつけて、

想いを返してくれなかったからといって、

こうしてあなたを困らせてしまっているのに。

優しいのは、どっちだ――

「人を好きになるのって、優しさが必要だと思っただ。

だって、好きになった人のことを考えるだけで、優しい気持ちに
なれるだろう？」

そう、確かに、あなたのことを考えると――

優しさが、込み上げてくる。

「だから…俺も、ありがとう」

それは涙を誘っているの？

雨が小粒になつてきて、止まんとしているのに。

だけど、彼の優しい言葉に、

心は救われたようだ。

だって、心の内を表している空は、

雲の隙間から、太陽を覗かせているから。

（後書き）

いかがでしたでしょうか？！気持ちを文章にするのは、なかなかデ
イフカルトオオですね。もっと精進します！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6682a/>

優恋

2011年10月3日07時55分発行